

大成功 — 来場者 45,000 名、出展者 1,274 社

初開催の solarpeq も成功をおさめる。

世界一国際ガラス製造・加工機材展 glasstec2010 と今回初めて同時開催された国際ソーラー装置製造技術展 solarpeq2010 が 9 月 27 日 - 10 月 1 日までデュッセルドルフで開催され、大成功を収めて閉幕した。50 ヶ国以上から 1,274 社の出展者がデュッセルドルフ会場 9-17 号館の合計 9 ホールに出展した。日本からは 8 社の企業が出展参加した（会期前[プレス・リリース](#)を参照）。世界中からガラスとソーラー業界の専門家 45,000 人が来場し、その 3 分の 2 が solarpeq へ深い興味を示していた。二つのメッセの相乗効果を反映していると言える。

景気が復活

不景気もほぼ終焉したように思われるが、両メッセでその気配は出展者にも来場者側にも感じ取られた。製造機械メーカーも今回の glasstec に満足していると表明しているところが多い。「今回、glasstec がガラス業界のトップイベントとしての役割を果たしていることが再確認できた。景気には上向きの傾向が見え、出展者にとって非常に良い結果だと思う。」とメッセ・デュッセルドルフ副社長 H.W.ラインハルトがコメントしている。

来場者の高い国際性

「トップマネジメントに属し決定権を持つ来場者が多かった。」という出展者のコメントも特記すべきである。glasstec は、国際性が非常に高く、来場者の半分以上が海外からデュッセルドルフへ来ており、今回は特に北米と南米からの来場者の増加が目立っている。来場者の約半分が売買契約の締結などのビジネスの目的で glasstec を訪れている。また多くの出展者が今回の出展参加がビジネスことを予想している。

solarpeq が成功

初めて開催された solarpeq は出展者にも来場者にも評価され成功をおさめた。特に glasstec と solarpeq の内容が近いことで、同時開催の相乗効果が高まり、過去にアプローチできなかった顧客層が一箇所に集まり意見交換・情報交換を活発にすることが可能となった。併催された会議「Solar meets Glass」の目的は、ガラスとソーラー業界を連結させ、それぞれのエキスパートを一箇所に集め、相互のネットワークを構築することで、参加者は約 200 名を記録している。会議ではソーラーとガラス業界のトップ企業や研究所の代表が市場の現状や傾向について発表した。「ガラス業界とソーラー業界との意見交換・交流が必要だと思う。両方の業界にはメリットがあるように、製品と用途に関するロードマップができればベストだと思う。今回の会議はその目的達成への第一歩だった。」と会議長/SEMI 内 PV グループ長 Dr.H.ビンダーが述べている。

併催プログラムが好評

その他に複数の glasstec 併催プログラムが行なわれ、好評を受けた。今回初めて大学との協力で開催されたガラス・ファッサードとソーラーをテーマにした「engineered transparency」には 200 人以上が参加している。また今回も会場内に設置した特別ショー「glass technology live」では、ガラスの将来が紹介され、多くの来場者をひきつけた。

ファッサードをテーマにした「Fassaden Center」では、出展企業と工業会によりガラスを応用したファッサード建築について新しい動向や革新的な製品が取り扱われた。また恒例の建築家コンGRESS「ガラスとエネルギー」や「ガラスアート」も開催された。

glasstec/solarpeq の次回開催は 2012 年 10 月の予定。

情報要求またはご不明な点がございましたら、デュッセルドルフ見本市会社または日本代表部へご連絡下さい。

デュッセルドルフ見本市会社

Messe Düsseldorf GmbH

P.O.Box 101006

D-40001 Düsseldorf Germany

TEL: +49-211-456001

FAX: +49-211-4560-86100

www.messe-duesseldorf.de

www.glasstec-online.com

日本代表部

(株) メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951

FAX: 03-5210-9959

mdj@messe-dus.co.jp

www.messe-dus.co.jp



Messe
Düsseldorf



Messe
Düsseldorf
Japan